

■ 3学期が始まりました！

1月11日（火）から3学期が始まりました。始業式の中で私からは、冬休みから3学期にかけての学習・生活・部活動などの取組は来年度の諸活動の展望を考えると、とても重要であることを話した上で、新井白石の逸話を取り上げました。その内容は『米袋に米を1日1粒の米を加えても、2日、3日、1週間では誰も気づくことはない。しかし、半年、1年と時間が経てば、1日1粒ずつであっても、誰もが気付くこととなる』という逸話でした。これは勉強や部活動も同じことがいえます。1日や2日では成果は見えにくいですが、コツコツと小さな積み重ねであっても、これが半年、1年と経てば誰にでも成果が見えるということになります。

3学期は1年のまとめの学期です。3年生は受験、進路実現、そして高校生活の準備期間に入ります。将来の自分像を見据えて進路実現できるようにしっかり計画を立て、目標に向かって邁進してほしいと思います。2年生は生徒会活動を引き継ぎリーダーシップをとって来年度までの自分像を見据えてしっかり計画を立て、学習や部活動の目標に向かって邁進してほしいと思います。1年生は、4月から2年生となって新しい1年生を教え導く立場となることを見据えてしっかり計画を立て、目標に向かって邁進してほしいと思います。

生徒一人一人、各学級、各学年、学校全体の飛躍を見据えて、日々当たり前のことを当たり前に積み重ねる根気強さを中学校生活で身につけて、自己実現を果たしてほしいです。3年生全員の進路実現と高校生活での飛躍、1・2年生全員の進級と今後の学校生活の充実を期待しています。3学期もよろしくお祈りします。

■ 「新春町長と語る会」開催！

1月19日（水）6校時に矢巾町町長の高橋昌造様を本校にお招きして、新春町長と語る会を開催しました。語る会の題材は「SDGs」（持続可能な開発目標）でした。高橋町長様と語る会に臨むに当たって、12月に事前学習会を行いました。矢巾町役場企画財政課課長補佐の高橋

雅明様を講師にお迎えして、「SDGs」の基本的な考え方、矢巾町で推進している「SDGs」の取組などのお話をうかがいました。その上で、さらに「SDGs」の理解を深めるために、1月12日（水）にムライロカンパニー代表取締役の村井淳様にご来校いただき、「SDGs」カードゲーム体験学習を実施し、2年生全員で「SDGs」について体験的に理解を深めることができました。これらの事前学習を踏まえて、当日は高橋町長様に「SDGs」に関わる提言や



質問し高橋町長様から回答をいただきました。生徒の皆さんの自分事として提言や質問に耳を傾け、真剣な眼差しがとても印象に残りました。提言などを通して、身近な問題として受け止め、自分たちができることを実行に移す意識が高まりました。

■ 2年生餅米調理実習

1月18日（火）～21日（金）に2年生の各クラスが、餅米を使って調理実習を行いました。実習では2年生が春に田植えをして、秋に稲刈りをした餅米を使用しました。調理実習を行うこと



によって、食物の大切さ、勤労の大切さ、感謝の心を養うことなどをねらいとして実施しました。あんこ餅、きなこ餅、ごま餅などをつくり、みんなで美味しくいただきました。

なお、精米した餅米は、今年度も横軸連携校である野田村立野田中学校の生徒の皆さんにプレゼントすることになっています。

校報
矢巾中
世界に響け 矢中魂
第18号 文責 福士 幸雄